

11月



学習カレンダー

学習教室

アミハウス

TEL: 0846-45-6777

Mail: amihouse@sky.megaegg.ne.jp

今年も残すところ後2か月になりました。寒い季節がやってきます。体調管理に留意しましょう！

今月から、漢検対策学習に入ります。塾だけの学習では、不十分です。家庭でも時間を設け学習していきましょう！

漢検受験日は、2020年2月8日(土)です。漢字に興味を持ち、読み、書くことを重点的に学習していきます！

月	火	水	木	金
10/28 10/28 振替休日	10/29 10/29	10/30 10/30	10/31 10/31	1 10/30に振替
4 振替休日	5	6	7	8
11	12	13	14	15
18	19	20	21	22
25	26	27	28	29

中学生・高校生の英語教育、さらに大学入試英語も大きく変わる

小学生の英語教育だけでなく、中学生・高校生の英語教育、さらには大学入試でも大きな変化が起こり始めています。

まず、中学校や高校の英語の授業は、英語を「話す」練習を含む、活動型の授業に変わりつつあります。全国の半数以上の公立中学校・高校では、先生も生徒も日本語ではなく、英語でやりとりする“オール・イングリッシュ”授業がすでに行われていると言われています。

さらに、2020年度から、大学入試センター試験に代わって始まる新テスト『大学入学共通テスト(仮称)』の英語に、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を総合的に測るTOEFL®(トーフル)などの英語検定を利用する準備を、文部科学省が進めています。

これまでの大学入試英語は、文法・長文読解問題といった「読む」の1技能中心でした。そのため、「聞く」「話す」「書く」、なかでも「話す」力はまったく重要視されていませんでした。

しかし、このままでは、加速する社会のグローバル化に対応できず、学校で英語を学ぶ意味が失われてしまいます。いまや世界では4人に1人が英語を使っている時代。そして、このうちの約8割はアメリカ人やイギリス人などのネイティブではなく、私たち日本人を含むノンネイティブ。言うまでもなく英語は、外国人とのコミュニケーションでの“必須道具”なのです。

こうした状況を鑑みて、文部科学省は大学入試に「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を総合評価するTOEFL®などの英語検定を使うことで、こどもたちが英語コミュニケーション能力を身につけることができる、本当に“将来使える”英語教育へ大きく変えようとしています。そして、このような英語コミュニケーション能力の素地をつくるために、小学生の英語教育も低年齢化に向かっているのです。

